

西濃農林事務所の普及活動状況

平成27年5月27日現在

今月の重点活動

■女性農業経営アドバイザー **活動PRとテストマーケティング**

ゴールデンウィーク初日の5月2日に、河川環境楽園（オアシスパーク）にてアドバイザー活動、農産物PR、テストマーケティングを行った。会員5名が、女性農業経営アドバイザーのマークを入れたオリジナルののぼりを掲げ、活動パンフの配布等を行った。併せて会員が生産する農産物や加工商品の販売も行い、各出品者が、販売価格を設定し、消費者動向を把握した。今年度、西濃ブロックの新たな事業として企画した取り組みであり、結果については6月9日のブロック全体会議にて報告を行う。



【活動PRの様子】

活力ある新産地づくり

■ブロッコリー **ブロッコリー部会総会及び反省会の開催**

ブロッコリー大垣部会総会及び反省会が5月20日に開催された。反省会において、農業普及課から一発基肥試験結果及び新品種試験結果について説明し、27年度から追肥が必要とならない新肥料を製品化することを伝えた。また、品種については一昨年試験栽培を行った2品種について26年も良好な結果が得られたため、今年度は更に面積拡大していくことを提案した。

農家からは26年のブロッコリーは良好な結果であったことと、ブラウンビーズ等の被害がでた品種については、新たな品種に見直していきたいとの意見が多かった。



【反省会の様子】

売れる農畜産物づくり

■小麦 **良品質麦の安定生産指導**

5月27日にJAにしみの主催で「小麦現地検討会」が開催された。生産者と関係機関で200人が集まり、8台のバスに乗り合わせて午前中に海津市と輪之内町の小麦「さとのそら」の実証圃を巡回視察した。農業普及課から、実証圃の「さとのそら」は、慣行栽培品種である「農林61号」と比べて穂数が多く収量増が見込め、また、稈長が短いため、倒伏する危険性が少ないなどの利点について説明した。

午後はJAにしみの本店において、農業普及課から小麦全般の生育状況と「さとのそら」の特性について説明し、農協から今後の品種切り替えスケジュールについて説明した。

27年産小麦は、4月上中旬の多雨・日照不足により小麦赤かび病の発生が危惧されたが、4月下旬以降の好天により防除は計画どおりほぼ適期に行われており、現在のところ目立った発病は確認されていない。

「イワイノダイチ」は、稈長はやや長めで穂数はやや少なく、収量は平年並の見込みである。「農林61号」は、穂数が少なく、収量は少ないと思われる。「さとのそら」は、穂数・収量ともに平年並～やや少ないと思われる。

季節外れの台風や大雨により、「農林61号」を中心に倒伏しているほ場が見られる。収穫期は昨年よりやや早めとなる見込みである。



【小麦現地検討会の様子】

■ 水稲 **水稲直播の取り組み（海津市）**

海津市では今年、乾田直播と湛水直播を合わせて約110haで水稲直播栽培が行われる予定である。

乾田直播は、3月末～4月下旬にかけて2品種で約70haの播種作業が行われた。現在、4月末に播種したほ場で出芽期を迎えているが、今年は4月上中旬の多雨のため播種作業が大幅に遅れた。今後5月下旬にかけて、1品種約40haの播種作業が行われる予定。

湛水直播は、5月上中旬に「ハツシモ岐阜SL」で約2haの播種作業が行われた。

■ トマト **海津トマト部会全員研究会開催**

海津トマト部会全員研究会が5月18日に海津営農センターにて開催され、農業普及課からは平成28年産に向けての栽培管理（新しい台木及び穂木、施肥改善した苗、※pFメーターを活用した灌水、葉かび病等の発生状況と対策等）について説明を行った。樹勢を維持できる台木やリン酸施用苗（当部会で3年間試作）及びpFメーターの活用事例について関心が高く、生産者からの活発な質問や意見が出され、有意義な研究会となった。

今後は、技術係会と連携し、今回説明した技術や資材について問題なく普及するように支援をしていく予定である。※土壌水分を計測する器械

■ いちご **共販出荷終了**

各生産組合のいちご共販出荷は5月20日までで終了した。

いちご出荷量は、4月30日現在、西美濃全体で前年比86%（海津85%、平田83%、池辺81%、養老118%、大垣89%）となっている。

海津いちご部会で5月13日に全体研究会が開催され、農業普及課から栽培研修において育苗管理、病虫害防除等の講習を行った。

■ 水田農業 **低コスト水田経営を実践できる担い手の育成**

大垣市薬草組合は5月8日に第32回通常総会を開き、今期の事業計画を協議した。薬草組合は大垣市を中心に「かみつれ」を生産集荷する組織であり、（農）大垣南は組合員である。総会では薬草組合の大きな事業として、「第1回大垣かみつれまつり（5/9）」が提案・決議され、総会后すぐに準備を行った。翌日の「かみつれまつり」では大垣市が事前に募集した収穫体験希望者88人が、（農）大垣南のかみつれほ場に入り刈取りを行った。

また、（農）大垣南の事務所、格納庫では（株）カミツレ研究所によるかみつれ抽出体験、地域のグループによるバザーが行われ、体験者地域の人たち多数が参加した。



【刈取り体験の様子】

多様な担い手の育成・確保

■ 法人化支援 **集落営農組織の法人化**

西濃管内では、集落営農組織の法人設立が相次いでいる。

安八町では、5月24日安八町上村地区において農事組合法人あんぱち北部営農（前上村集落営農）の設立総会が開催された。この法人化により安八町の任意営農組織は3法人となる。

また、神戸町では5月10日、神戸町瀬古地区において、農事組合法人瀬古集落営農の設立総会が行われた。



【瀬古集落営農設立の様子】